

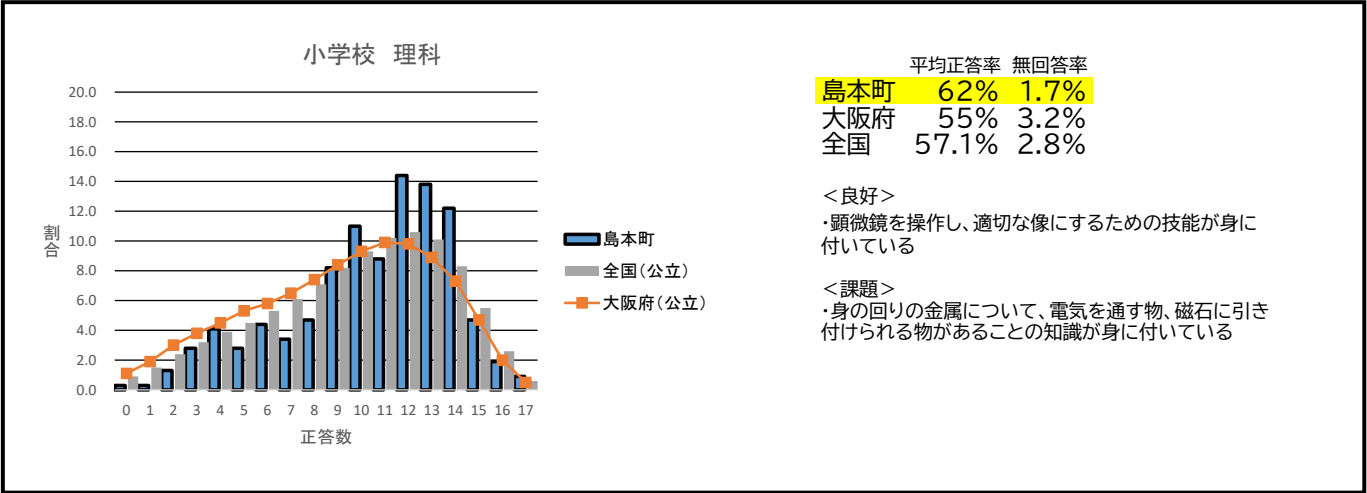
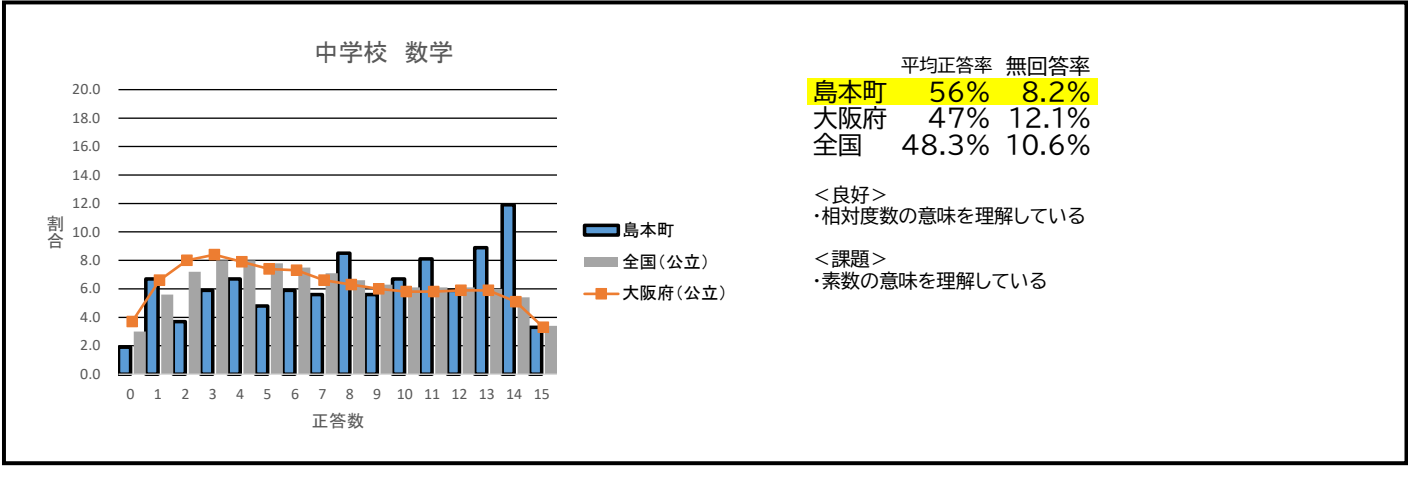
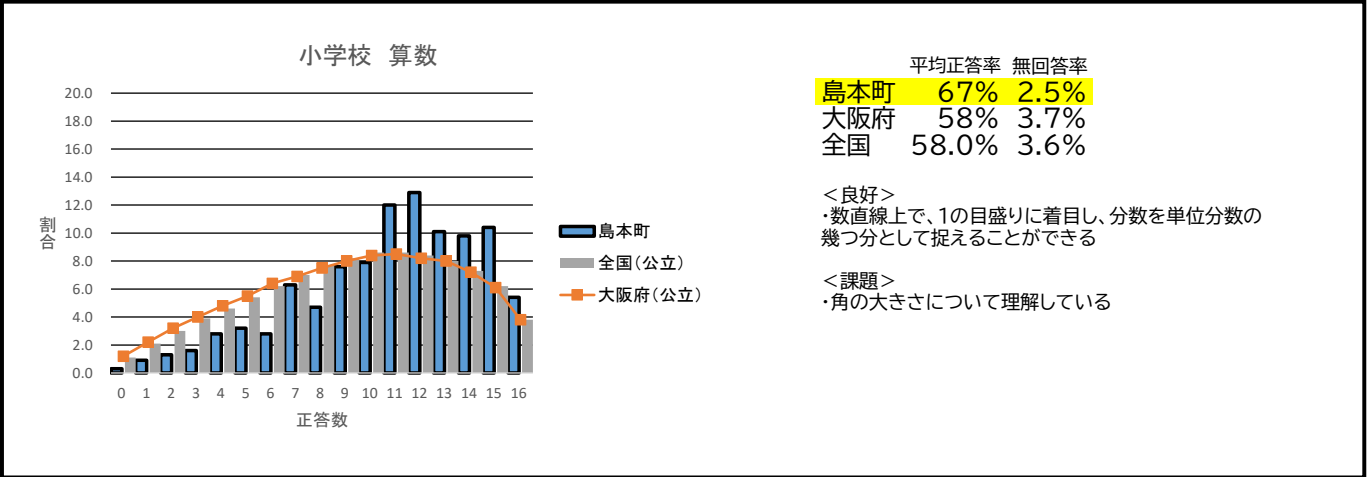
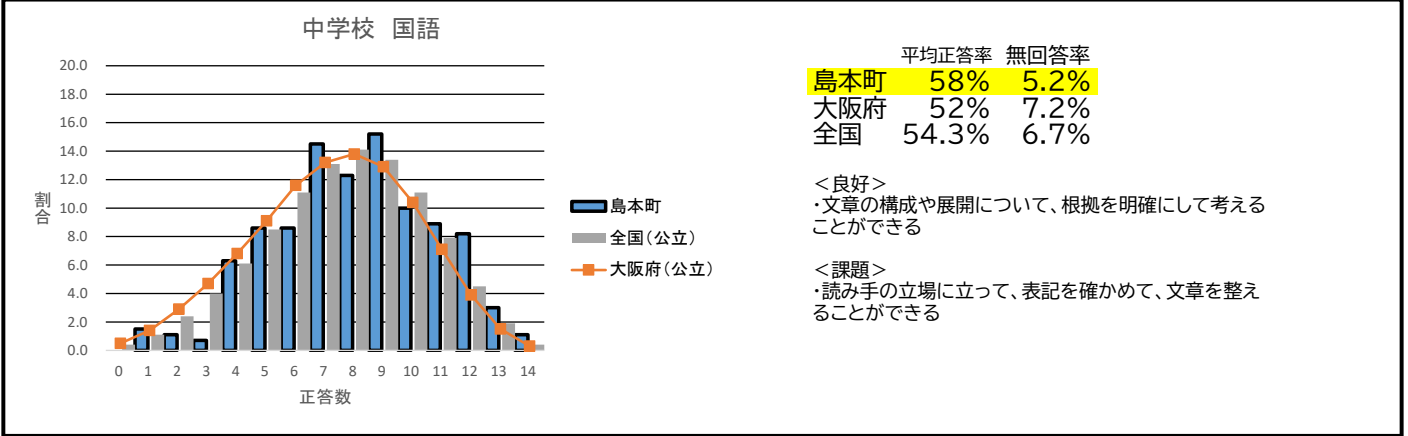
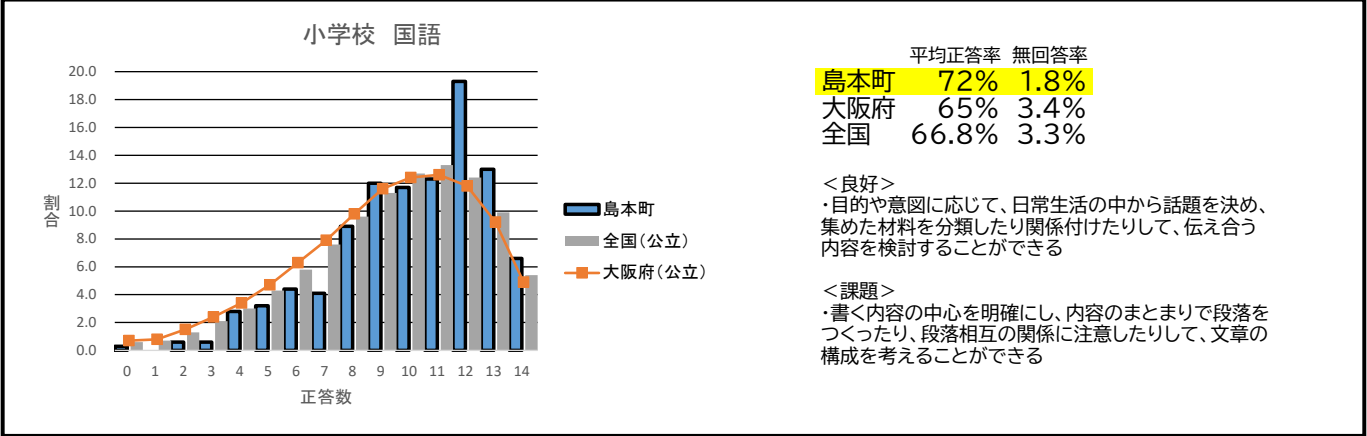
令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

教育推進課

実施日時:令和7年4月17日(木)
対象・内容:小学校第6学年(国語、算数、理科、児童質問紙)、中学校第3学年(国語、数学、理科、生徒質問紙)

実施対象校数・児童数:小学校4校・319人(大阪府公立63,086人 全国936,576人)
実施対象校数・生徒数:中学校2校・270人(大阪府公立58,607人 全国871,097人)

1. 教科に関する調査結果

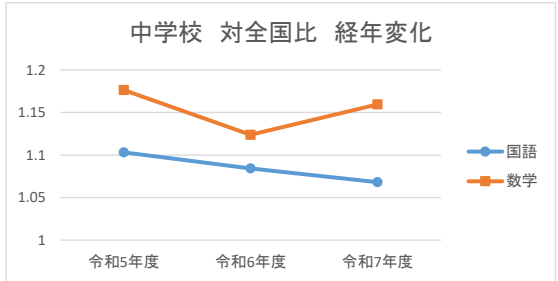
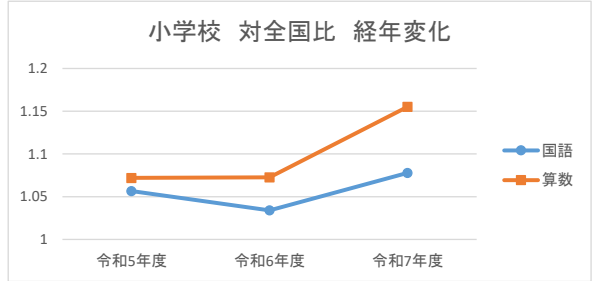


中学校 理科

中学校理科は1人1台端末を活用したオンライン(IRT方式)で実施。IRTとは生徒の正答・誤答が問題の特性によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論のことです。問題は全日程共通と実施日により異なる公開問題、生徒ごとに異なる非公開問題があります。

	全日程共通公開問題における		
	平均正答数	無回答率	IRTスコア
島本町	3.1問/6問	2.5%	540
大阪府	2.7問/6問	6.1%	487
全国	2.9問/6問	4.6%	503

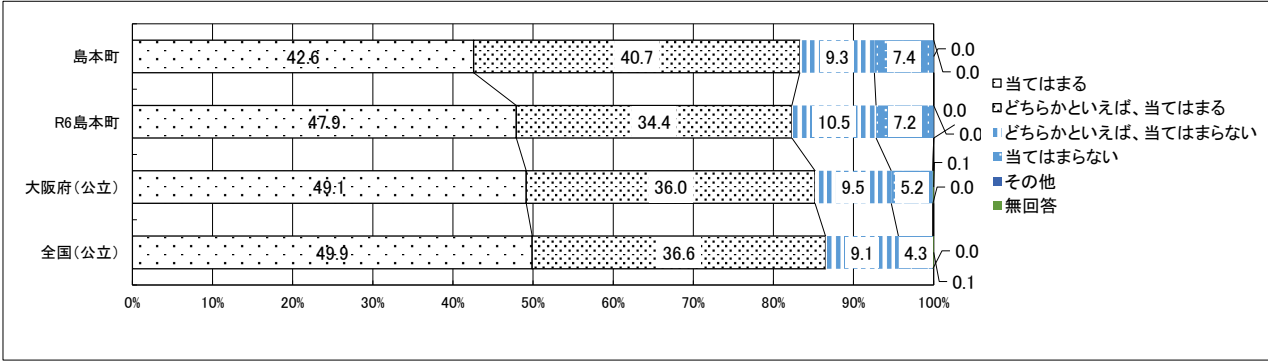
IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、全国平均を基準とした得点で表したものです。



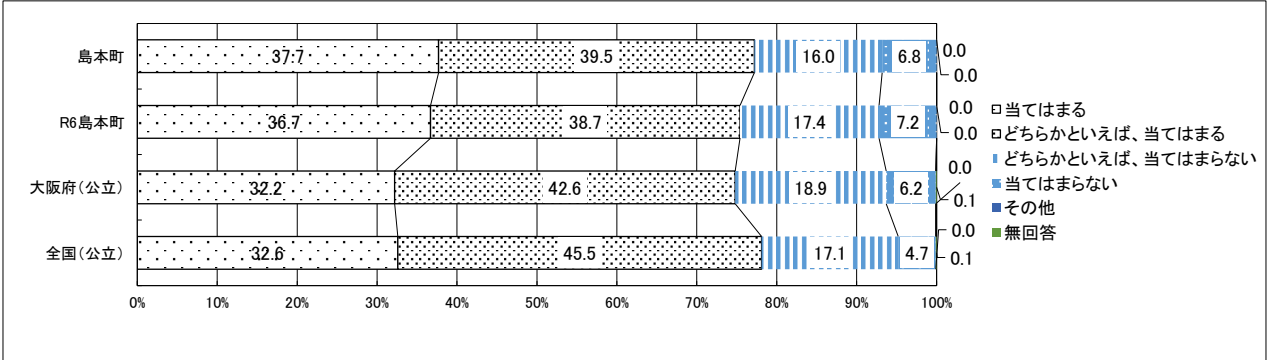
2. アンケート(抜粋)

小学校

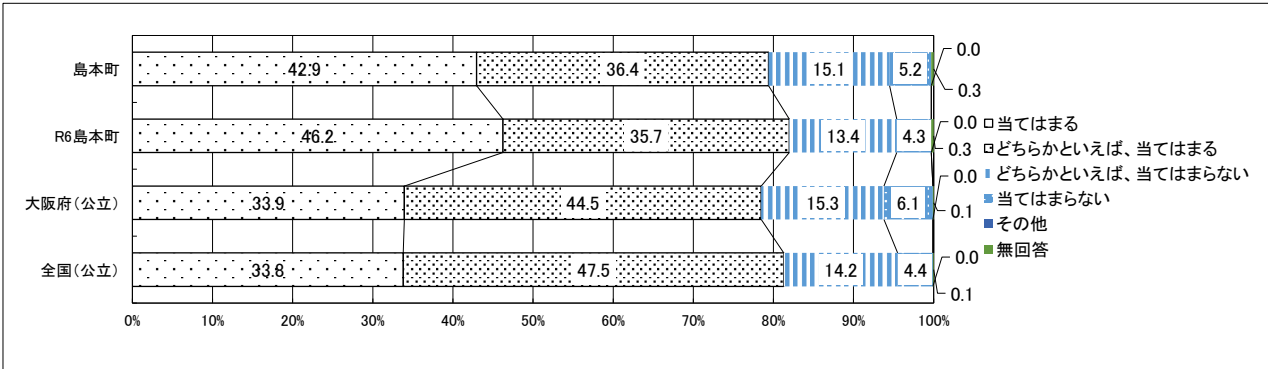
(12)学校に行くのは楽しいと思いますか



(13)自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

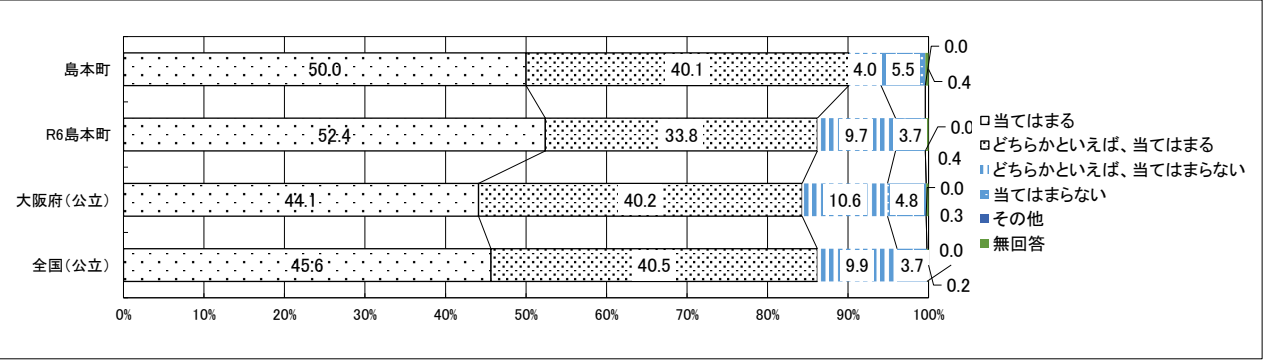


(27)地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

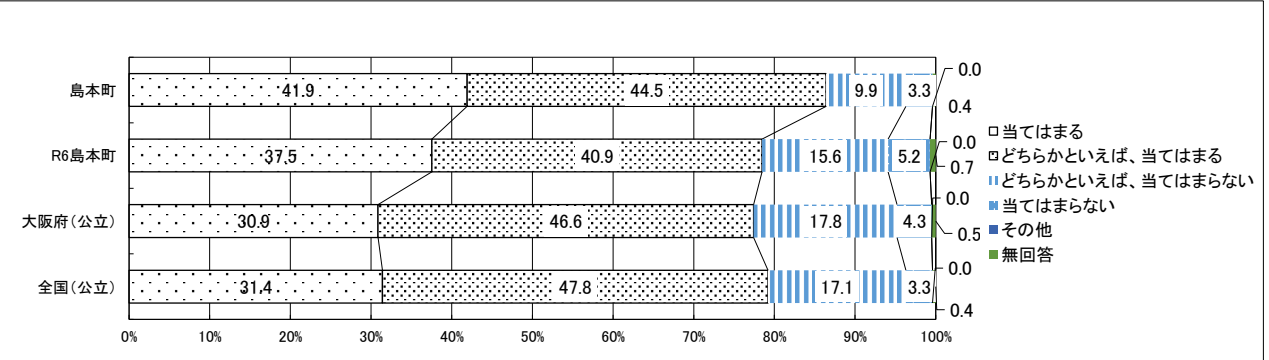


中学校

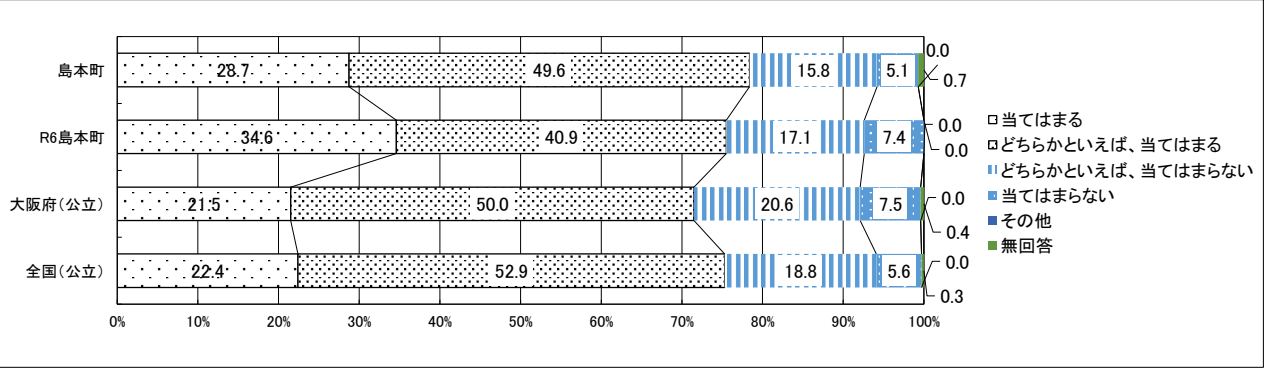
(12)学校に行くのは楽しいと思いますか



(13)自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



(27)地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



＜アンケート結果について＞

「みづまるキッズプラン」の成果指標の一つとして本アンケートを活用し、当該プランの目指す子ども像を実現するためにつきたい力である「自己表現力」「課題探究力」「社会参画力」が身についたかを把握するための一助としている。

○(13)で問われている「社会参画力」育成を目指した他者理解について、令和6年度の肯定的回答割合を小学校では1.8ポイント、中学校では8ポイント上回る結果となった。各学校において、対話的な学びを通じた学習内容の深化を意識した授業改革が推進されている成果であると分析できる。今後も、教員の指示によるものだけでなく、児童生徒自身が対話の重要性や、他者と協働することによる学習内容の深まりを意識できる取組を継続していく必要がある。

●(12)の学校に行くのは楽しいと思うか、については大阪府平均の肯定的回答割合と比較して小学校で1.8ポイント下回った。また、中学校では令和6年度と比較して強肯定割合が2.4ポイント下回った。また、(27)の地域や社会への参画意欲については、令和6年度と比較して強肯定割合が小学校では3.3ポイント、中学校では5.9ポイント下回る結果となった。各校のカリキュラムの中に、地域や社会とつながる仕掛けを設定し、児童生徒が課題解決的な学習を実施することで、自己有用感や達成感を高める取組等の実践が必要であると分析できる。